



[症 状]

実熱症 + 各種出血症(咯血・吐血・衄血・血尿・月經過多・崩漏 等)

#### 4) 血 寒

: 寒邪が血に侵入し実寒症と瘀血症が見られる病態を指す。

[原 因]

外感寒邪 → 血に侵入 → 血 寒

[症 状]

実寒症 + 瘀血症

### 3. 津液病 [津液不足・津液停滞]

#### 1) 津液不足

: 津液不足による、全身或いは臓腑・組織の滋潤不足が見られる病態。

[原 因]

1. 生成不足 : 後天不足 { 水穀の摂取過少  
脾胃の機能低下 } → 津液の生成不
2. 消耗過多 { ① 熱病による消耗  
② 労 倦  
③ 汗の過多、嘔吐、下痢 等

[症 状]

“水分不足の症状”  
口・唇・咽喉・皮膚・粘膜 等の乾燥、口渇、尿量減少、大便乾燥、舌少津、脈細

## 2) 津液停滯

: 津液の代謝に障害が生じ、痰飲が体内に存在している病態を指す。

[原因] 前述してあるので省略する。第 19 講を参照されたし。

## [症状]

重痛・・・(重濁性)  
 浮腫(特に下肢)、帯下・・・(下注性)  
 腹部膨満・・・(脾の機能低下)  
 悪心嘔吐・・・(胃に溜まり、胃の機能低下)  
 胸悶、多痰・・・(肺に溜まった表現、有形の痰)  
 舌苔膩、脈滑

## 『 気血津液病証の代表的な症状 』

| 証     | 代表的な症状  |
|-------|---|
| 気虚証   | 倦怠感、精神疲労、無力感、呼吸微弱、自汗、活動後に諸症状悪化、眩暈、舌淡、脈虚・無力                        |
| 気滞証   | 脹痛、張り、情緒により症状が変化、太息が多い、噯気、失気で症状緩和                                 |
| 気逆証   | 咳嗽、気喘、悪心嘔吐、噯気、呃逆、頭痛、眩暈、吐血、昏厥                                      |
| 血虚証   | 顔面蒼白・萎黄、爪・唇・眼瞼結膜の色が薄い、眩暈、手足の痺れ、心悸多夢、白髪・脱毛、月経不調、舌淡、脈細無力            |
| 血瘀証   | 刺痛(固定性、拒按)、腫塊、吐血、月経血等が紫暗か黒色で血塊が混じる 顔色が青紫或いは皮膚に出血点、舌質紫暗・瘀点瘀斑、脈澀・結代 |
| 血熱証   | 実熱症 + 各種出血症(咯血・吐血・衄血・血尿・月経過多・崩漏等)                                 |
| 血寒証   | 実寒症 + 瘀血症   |
| 津液不足証 | 口・唇・咽喉・皮膚・粘膜等の乾燥、口渴、尿量減少、大便乾燥、舌少津、脈細                              |
| 津液停滯証 | 重痛、浮腫(特に下肢)、帯下、腹部膨満、悪心嘔吐、胸悶、多痰、舌苔膩、脈滑                             |